

氏名	伏見もも	部署	健康開発学科	職名	助教
研究分野	臨床生理学、睡眠検査学				
学位	修士(健康福祉科学)				
学歴	2020年埼玉県立大学, 保健医療福祉学部, 検査技術科学専攻 卒業、2022年埼玉県立大学, 大学院保健医療福祉学研究科, 博士前期課程 修了 2024年現在埼玉県立大学, 大学院保健医療福祉学研究科, 博士後期課程 在籍中				
経歴	2020年すなおクリニック臨床検査技師、2021年大宮内科クリニック臨床検査技師、2020年埼玉県立大学ティーチングアシスタント、2021年日本大学医学部精神医学系精神医学分野研究補助、2022年国立精神・神経医療研究センター睡眠・覚醒障害研究部研究員/臨床検査技師、2023年埼玉県立大学保健医療福祉学部検査技術科学専攻助教				
所属学会（役職）	日本睡眠学会、日本睡眠検査学会、日本臨床神経生理学会、日本臨床衛生検査技師会、日本女性心身医学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	新しい動脈硬化指標および従来動脈硬化指標と生活習慣との関連と性差	共同	第73回日本医学検査学会, 金沢		○ <u>伏見もも</u> , 渡邊光, 井上紗良, 谷口咲羅, 山路茉実, 五月女杏, 有竹清夏		2024/5/11
2	黄体期における昼間運動と簡易脳波計を用いた夜間睡眠脳波成分	共同	第73回日本医学検査学会, 金沢		○ <u>伏見もも</u> , 飯島竜星, 五月女杏, 有竹清夏		2024/5/11
3	Resistance Exercise in the Luteal Phase Promotes Heat Loss and Increases Delta Power During Nocturnal Sleep	共同	SLEEP2024, Houston		○ <u>M.Fushimi</u> , R.Iijima, M.Kiyama, H.Kubokawa, K.Sugawara, M.Takakura, S.Noguchi, M.Konno, S.Aritake-Okada		2024/6/1
4	手足温浴による放熱、脳波的睡眠構造および主観的評価の変化と性差	共同	日本睡眠学会第48回定期学術集会, 横浜		○五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, <u>伏見もも</u> , 有竹清夏		2024/7/18
5	日本人における不溶性食物繊維摂取と睡眠休養感の関連	共同	日本睡眠学会第48回定期学術集会, 横浜		○ <u>伏見もも</u> , 河村葵, 内海智博, 吉池卓也, 松井健太郎, 都留あゆみ, 伊豆原宗人, 有竹清夏, 栗山健一		2024/7/18
6	黄体期における運動の効果－女性の起床時主観的評価と客観的睡眠評価との関連性－(ポスター)	共同	日本睡眠学会第48回定期学術集会, 横浜		○ <u>伏見もも</u> , 飯島竜星, 木山水月, 久保川媛加, 菅原このみ, 高倉麻里子, 有竹清夏		2024/7/18
7	Bedtime Procrastination Scale日本語版の開発と妥当性・信頼性の検討	共同	日本睡眠学会第48回定期学術集会, 横浜		○羽澄恵, 河村葵, 吉池卓也, 松井健太郎, 北村真吾, 都留あゆみ, 長尾賢太郎, 内海智博, 伊豆原宗人, 高橋絵里矢, <u>伏見もも</u> , 江藤太亮, 西大輔, 栗山健一		2024/7/18
8	職域における睡眠簡易健診、睡眠衛生指導の有用性(シンポジウム)	共同	日本睡眠学会第48回定期学術集会, 横浜		○河村葵, 羽澄恵, 岡邨しのぶ, <u>伏見もも</u> , 吉池卓也, 栗山健一		2024/7/19
9	若年成人の生活習慣と新たな動脈硬化指標の関連性における性差の影響	共同	第18回日本臨床検査学教育学会学術大会, 新潟		○ <u>伏見もも</u> , 渡邊光, 井上紗良, 谷口咲羅, 山路茉実, 五月女杏, 有竹清夏		2024/8/23
10	Resistance exercise promotes heat loss and δ -power during nocturnal sleep in luteal phase.	共同	ASSM2024, 有明		○ <u>M.Fushimi</u> , R.Iijima, S.Noguchi, S.Aritake-Okada		2024/10/18
11	黄体期女性の睡眠の質に対する身体運動の効果：主観的・客観的指標の観点から	共同	第5回日本睡眠検査学会学術集会, 神田		○ <u>伏見もも</u> , 飯島竜星, 木山水月, 久保川媛加, 菅原このみ, 高倉麻里子, 有竹清夏		2024/11/9

12	睡眠ポリグラフ検査と周波数解析を用いた手足温浴の放熱、徐波成分、主観的評価への効果	共同	第5回日本睡眠検査学会学術集会, 神田	○五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, 伏見もも, 有竹清夏	2024/11/10
13	温熱冷却による放熱、睡眠構造、主観的評価の関連	共同	第5回日本睡眠検査学会学術集会, 神田	○山路茉実, 井上紗良, 谷口咲羅, 渡邊光, 五月女杏, 伏見もも, 有竹清夏	2024/11/10
14	睡眠休養感の欠如がコモンディジーズを介した健康転帰に及ぼす影響	共同	第40回不眠研究会	○高橋恵理矢, 吉池卓也, 内海智博, 河村葵, 長尾賢太郎, 羽澄恵, 岡邨しのぶ, 不破真衣, 松島舜, 伏見もも, 伊豆原宗人, 都留あゆみ, 南學正仁, 木村綾乃, 北村真吾, 松井健太郎, 栗山健一	2024/11/30
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	検査機器総論		1	心電図・脳波計・呼吸機能検査装置の座学において、装置の構造や測定原理に加えて臨床での活用例を取り入れ、学生が実際の検査場面を具体的にイメージしながら学べるよう工夫した。	
2	生理検査学Ⅰ		15	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートするとともに、講義資料の作成に携わった。	
3	生理検査学Ⅱ		7	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートするとともに、講義資料の作成に携わった。	
4	生理検査学Ⅲ		15	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートするとともに、講義資料の作成に携わった。	
5	生理検査学特論		15	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートするとともに、講義資料の作成に携わった。	
6	医用工学概論		15	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートした。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	IPW演習		15	科目担当者として学生主体のリフレクションやグループディスカッションが行われるよう担当学生グループをサポートした。	
2	生理検査学演習		8	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートするとともに、心電図検査の実技担当としてペアやグループでの相互実習を取り入れることで、学生同士の学び合いを促進するよう工夫した。	
3	臨床検査基礎演習		30	1年次学生が専門科目に触れる前の前段階として、生理検査機器への興味や理解を促すために、実際の検査機器に触れる機会を設け、座学だけでは得られない体感を通じて学習意欲を高めるよう工夫した。	
4	医用工学演習		30	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートした。	
5	検査総合演習		2	4年生の国家試験対策のために、教育協議会模試解説を行い、特に正答率の低い問題については、関連する基礎知識を紐づけて丁寧に解説し、単なる暗記ではなく、背景から理解できるよう指導した。	

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		学外実習：4日間	学生主体のリフレクションやグループディスカッションが行われるよう担当学生グループをサポートした。
2	臨床検査技能実習		学内実習：30コマ	臨地実習を見据えた実技試験形式の実習を導入し、臨床場面を意識した判断力や検査技術の確認を実施した。初年度実習のWGとして、実習内容の設計や進行管理、評価基準の整備などに関与し、円滑な実施体制の構築に努めた。
3	生理検査学実習Ⅰ・Ⅱ		学内実習：30コマ	心電図検査等の主要な生理検査機器を用いて基本的な操作技術と測定原理の理解を深めることを目的とした。ペアやグループでの相互実習を取り入れることで、学生同士の学び合いを促進するよう工夫した。
4	生理検査学実習Ⅲ		学内実習：30コマ	超音波検査や熱画像検査など応用的な内容に対して、ファントムを用いた事前学習を行い、限られた実習時間内での理解を深める工夫を行った。
5	臨地実習		学外実習：50日間	科目担当者として担当学生が病院実習に円滑に参加できるよう支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導 名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	厚労科研	新たな睡眠指針のための環境整備に関する研究(研究協力者)	2023/10-現在
2	産業支援	花王株式会社	乳幼児の発達と睡眠に関する共同研究(試験研究担当者)	2023/10-現在
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	該当なし			
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			